

シルバーサービス振興会  
第314回 月例研究会のご案内

拝啓 会員の皆様におかれましては、平素より、弊社業務につきまして、ご理解、ご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。また、「コロナ禍」の長期化が進む中、新たな変異種への移行による「第七波」の感染拡大が懸念されております。

こうした中、「月例研究会」につきましては、参加者の皆様の安全・安心を前提とした感染防止の観点から、昨年度から、ZOOM ウェビナーを使用しているオンライン方式で開催しております。会員の皆様におかれましても、講師との対面が叶わないなど戸惑われることもあろうかと思いますが、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます

さて、第314回月例研究会の開催についてご案内をさせていただきます。

介護保険制度は、創設以来21年を経過し、65歳以上被保険者数が約1.7倍に増加する中で、サービス利用者数も3.4倍に増加しており、既に高齢者の介護を支える重要な制度として定着・発展してきております。今後さらに、65歳以上の高齢者数は、2025年には3,677万人となり、2042年には3,935万人とピークを迎えることが予測されています。こうした高齢者の増加の一方で、現役世代の急減という労働力の制約が強まる中での介護サービスの人材確保、単身世帯や認知症の人の増加に伴うサービスそのものの変化など、制度創設以来の課題である持続可能性の確保をはじめ、多くの重大な課題に直面しているのも事実です。

こうした中、既に社会保障審議会「介護保険部会」での審議がスタートしておりますし、同「介護給付費分科会」でも並行して、前回の介護報酬改定の効果検証等も進められております。さらには、政府では「全世代型社会保障社会保障構築会議」の議論の中間整理も取り纏められるなど、それぞれ今後の審議の動向に注目が集まっております。

このため、本年度の最初となる月例研究会では、厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課の笹子課長をお招きし、こうした介護保険制度の最新の動向について解説していただくことと致しました。示唆に富んだ講演がいただけるものと存じますので、是非ご参加下さい。

参加申し込みの受付は先着順で締切りは、**7月22日(金)まで**とさせていただきます。特に申込人数の制限はございませんので皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

- テーマ : 「介護保険制度の動向について」
- 講 師 : 厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 課長 笹子 宗一郎 氏
- 日 時 : 令和4年7月25日(月) 14:00~16:00 (13:40より入室可能)
- 参加申し込みURL : ZOOM ウェビナーにて開催させていただきます。申し込み方法・視聴方法は別紙をご参照ください。  
[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_KWrbZLVIRI2KLCyA7HdyyA](https://zoom.us/webinar/register/WN_KWrbZLVIRI2KLCyA7HdyyA)  
※上記URLをクリックいただけますと申込みサイトが開きます。